



真鶴中学校だより 第二六八号

鶴からの手紙

2024
9.27

責任者
市川 麻美

前期から後期へ

二期期の始まりが九月にずれ込みましたがそれから一ヶ月が過ぎようとしています。記録的な暑さが続きましたが、なんとか乗り越えることができました。

今月は十一日に一年生漁業体験、二十日にパラスポーツ（ボッチャ大会）、二十一日には五年ぶりに町の防災訓練に学校全体で参加しました。二十五日、二年生がオリリンピアンの講座、放課後学校保健委員会、と盛りだくさんの内容がありました。漁業体験や防災訓練では、この町の方々の優しさで温かさを改めて感じたところです。生徒のみんなも含めてすべての皆様に感謝したいと思います。いつまでも暑い中、生徒の皆さんは目の前のやるべき事にしっかり取り組みたいと思います。ここまでよく頑張っています。夜、耳を澄ますと、秋（虫の声）の気配を感じることができそうです。あとは日中、空を見上げて、うろこ雲が広がっていたら、夏は終

わって秋が来たということですが、涼しくなったら、さらに、学校生活を充実させるよう頑張っていきたいと思います！

真鶴町総合防災訓練

九月二十一日、本校体育館で防災訓練が実施されました。今回の訓練対象地域にあたる城北地区、山ゆり地区の方と一緒に全校生徒が参加しました。はじめに真鶴町自治会連合会会長の朝倉隆さんから、真鶴町の災害とこれまでの被害について、そして地震に対する備えなどのお話をいただきました。



そのあとは体育館で、地域の方と一緒に様々な訓練に参加し、体験をしたりお話を聞いたりしました。

（内容）

- 一 応急担架訓練
- 二 応急手当、AED訓練
- 三 資機材組み立て展示
- 四 個別避難計画
- 五 NTT広報、ペット避難
- 六 自衛隊展示広報

最後は自衛隊の方がつくってくれたとてもおいしい炊き出しのカレーライスをいただきました。

次は生徒の感想です。

〈一年〉

今日の防災訓練を振り返って、もしもの事があつたら、自分たちが声をかけたり、動いていかないといけないと思います。例えば今日の訓練に担架の訓練がありました。そこでは同じ力同士の人で持った方がいい、と説明してくれた先生は言っていました。言うことは中学生＋中学生または中学生＋大人で持たなければいけないと言うことです。そして最初、会長の朝倉さんのお話で使ったハザードマップはスマホでも見られるということだったので、地震が起きたら、そのハザードマップを見て、津波が来ない所まで声をかけて行かなければいけないということなんです。小学生の時は「自分の命！」が一番でしたが、中学生になり「自分の命＋周りへのサ

ポート！」も必要なのだと今日の防災訓練で分かりました。

一年一組 石田 律

私は防災のことをいっぱい知っていると思うけれど、今回体験してまだまだ知らないことばかりだなと思いました。そして自衛隊の道具や写真を見せてもらい、私たちのために色々なことをしてくれているんだなと思いました。

一年一組 山本 栞乃

〈二年〉

災害が起こって避難するとき、防災バックなど、災害に備えておくのが大切だと思った。自分も災害時に何か力になれたらいいな、と思った。

二年一組 古川 彩音



やっぱり、今日、話を聞いたり体験してみたり、改めて災害の怖さを実感しました。ハザードマップを見ると自分の場所と津波は来ないけど、それ以外にも建物壊れたりするかもなので、色々な可能性を考えて備えたいなと思いました。実際神奈川は地震の原因のプレートがたっさん重なっている場所なので、今後の未来、いつ起きてもおかしくない、だ

からこそ、今日の体験したことを少しでも覚えて何かあったらすぐ行動できるように頑張りたいと思います。

カレーとても美味しかったです！

二年一組 関浦 歩花

〈三年〉

今日の防災訓練はとても役立つと思いました。一人ひとりの人がいてねいに教えてくれたのでとても良かったです。段ボールでのベッドは本当に学校などに避難したとき、そこで寝泊まりかも知れないので、組み立て方などをしっかりと覚えて方が一に備えてその知識を得ておきたいです。

人が倒れているときの心臓マッサージのやり方なども改めてよく分かりましたし、とてもいいねいに教えてくれてとても良かったです。最初の朝倉さんのお話でのハザードマップでは津波が起きたとき



きは私の家は安全だと思いました。でも土石流は心配になりました。

全だと思いました。でも土石流は心配になりました。

三年一組 塩野 六花

家で一人。でも父母姉の大切なものがあるのに家が壊れそうなどきはどうしたらいいんだろうと思ったり、心肺蘇生であやふやな知識でやって良いものか。応急担架できても持てないかもしれない。こういうときってどうすればいいか分からないけれど、まずは自分の身はがんばって守ろうと思いました。

三年一組 丸山 心音

防犯訓練

九月五日は小田原警察署のスクールサポーターの方の協力のもと、校内に不審者が侵入したという状況を想定した訓練を実施しました。不審者が侵入した際は、職員と生徒だけが分かるような合図をします。(ここには載せませんので、お子さんに聞いてみてください！)職員はすぐに警察に通報すること、生徒の教室から遠ざけるように不審者を誘導していくこと、できるだけたくさんの方で対応することなどのポイントを学びました。生徒は、教室への侵入を防ぐためのバリエードをつくり、身を守ることを学びました。

パラスポーツ (ボッチャ大会)

九月二十日(金)、小田原アリーナにて中総体のパラスポーツ(ボッチャ)大会が行われました。本校からは一年三組、四組の生徒二人が大会に参加しました。前日には校長先生、教頭先生との練習試合も行い、当日の大会に挑みました。どのチームも大変技術レベルが高く、残念ながら予選リーグを勝ち進むことはできませんでした。二人とも初めての大会で緊張する中、最後まで健闘しました。

出場した生徒の感想を紹介します。



私は今年初めてボッチャ大会に出ました。体育の授業でたくさん練習をしました。本番では緊張して、脚がガタガタ震えました。ボールを投げたのが、大変でいつも通りにはいきませんでした。一勝しかできなかったけれど、楽しかったのもっと上手くなって来年も頑張りたいです。

一年三組 鈴木 恣皇

生徒科学展覧会

九月十三日(金)から九月十六日(月)に、小田原市民ホールにて、小田原市児童生徒科学展覧会・足柄下郡生徒科学展覧会が開催されました。本校からは四名の生徒の研究が出版されました。中でも但野さんの作品は教育長賞、青木さんの研究は教育研究会長賞を受賞しました。生徒の作品は十月二十五日の学習活動発表会で展示する予定です。その際はどうぞご覧いただきたいと思います。

- 小田原市児童生徒科学展覧会 出展
・足柄下郡生徒科学展覧会 出展
- 「野生の建築家」 3年 但野 海宇
 - 「竹水②」 3年 松本 彩那
 - 「窓から伝わる冷気」 3年 森谷 陽太
 - 「水のジャンプ」 2年 青木 虎太郎

※3年但野さん、松本さん、2年青木さんの研究は、日本学生科学賞神奈川県作品展(10月11日～県立青少年センター)にも出展されます。